

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 359

事務事業名	作業道整備事業	
基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040105	魅力ある農林水産業の振興
施策		林業の振興
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農林整備課		
課長名	松崎 文彦	内線	267
担当者名	山口 力也	内線	254

事業類型	6	施設維持管理(補修)事業(任意)
個別計画	大村市森林整備計画	
重点事業		

会計	一般		
款	6	農林水産業費	
項	2	林業費	
目	2	林業振興費	
事業コード	060000	作業道整備事業	

【PLAN(計画)】

対象(者)	作業道		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図 対象をどのような状態にしたいか	林業の振興と水源かん養などの公益的機能の保全を図るため、高性能林業機械等が安全、効率的に通行できるよう作業道を整備する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	森林地域での間伐等の森林整備を促進するため、受益戸数3戸以上の作業道舗装と補修を地元施工で行う。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 直営
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 舗装(補修)件数	計画値	2	1	1	1	H24から指標の見直し (舗装延長⇒舗装(補修)件数)
		実績値	2	1	1		
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標	① 要望達成率 (対応件数/要望件数)	計画値	2	1	1	1	H24から指標の見直し (舗装率⇒要望達成率)
		実績値	2	1	1		
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
②		計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	260	203	197	222	240	240	240	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	260	203	197	222	240	240	240	
② 人件費(千円)	954	907	993	1,018	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.12	0.12	0.14	0.14	受益戸数3戸以上の作業道舗装と補修を地元施行で行う。	受益戸数3戸以上の作業道舗装と補修を地元施行で行う。	受益戸数3戸以上の作業道舗装と補修を地元施行で行う。	
時間外勤務(時間)			3					
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	1,214	1,110	1,190	1,240				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	原材料支給により、作業道の整備を行った。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	木材価格の低迷・森林作業の労働力不足により、森林の整備が放置され公益的機能が損なわれている。作業道を舗装することで、高性能林業機械搬出・林産物の搬出などを効率的に行うことができ、林業の振興と森林の保全に繋がる。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	木材価格の低迷により森林への関心が薄れ、ますます森林の公益的機能が低下している。森林の公益的機能を保全し、林業を活性化するためにも、緊急に作業道を整備しなければならない。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	作業道の安全な通行、森林所有者の作業のため、作業道を適正に維持管理しておくことは重要である。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	本事業により、作業道の安全性、作業効率の高さが確保されている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり	該当なし		
	受益者が施工することによりコストの削減を図っている。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり	該当なし		
	市が材料費を負担し、受益者が施工手間を負担するのは適正な割合である。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	事業量は少ないが成果は上がっている。今後も継続して事業を行う。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。